記者発表

平成３０年１１月１４日
青森県道路メンテナンス会議

橋梁の定期点検を工業高校生が見学･体験します

～メンテナンスの重要性を実際の橋梁で学習～

社会的課題である道路インフラの老朽化対策について、道路管理者が連携して定期点検や長寿命化の促進と技術力向上、情報共有を図るなどの取組みを行うため「青森県道路メンテナンス会議」を平成２６年度に設立し、今年で５年目となります。

この度、会議の活動の一環として「青森県道路メンテナンス会議 現地見学会」を開催し、橋梁の定期点検を地元の工業高校生に見学・体験していただきますので、お知らせします。

【日　時】 平成30年11月16日(金)　13:50～15:00 （予定）

【場　所】 一般国道7号　平川橋 （藤崎町大字藤崎）※【位置図】参照

【見学者】 青森県立　弘前工業高等学校　1年生　35名

【内　容】 橋梁の定期点検と同様に、床版の下面の損傷状況をリフト車に搭乗しての近接目視点検や、橋台付近の部材損傷等の目視点検を、実際に体験していただく予定です。

◆報道機関の皆様へ

平川橋の集合場所は、位置図に記載している経路で進入されるよう、お願いします。

なお、事故防止のため、現地では係員の指示に従っていただきますよう、お願いします。

また、悪天候等で現地作業が困難と判断される場合は、中止することも想定されますので、何卒ご了承ください。

〈発表記者会:青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社〉

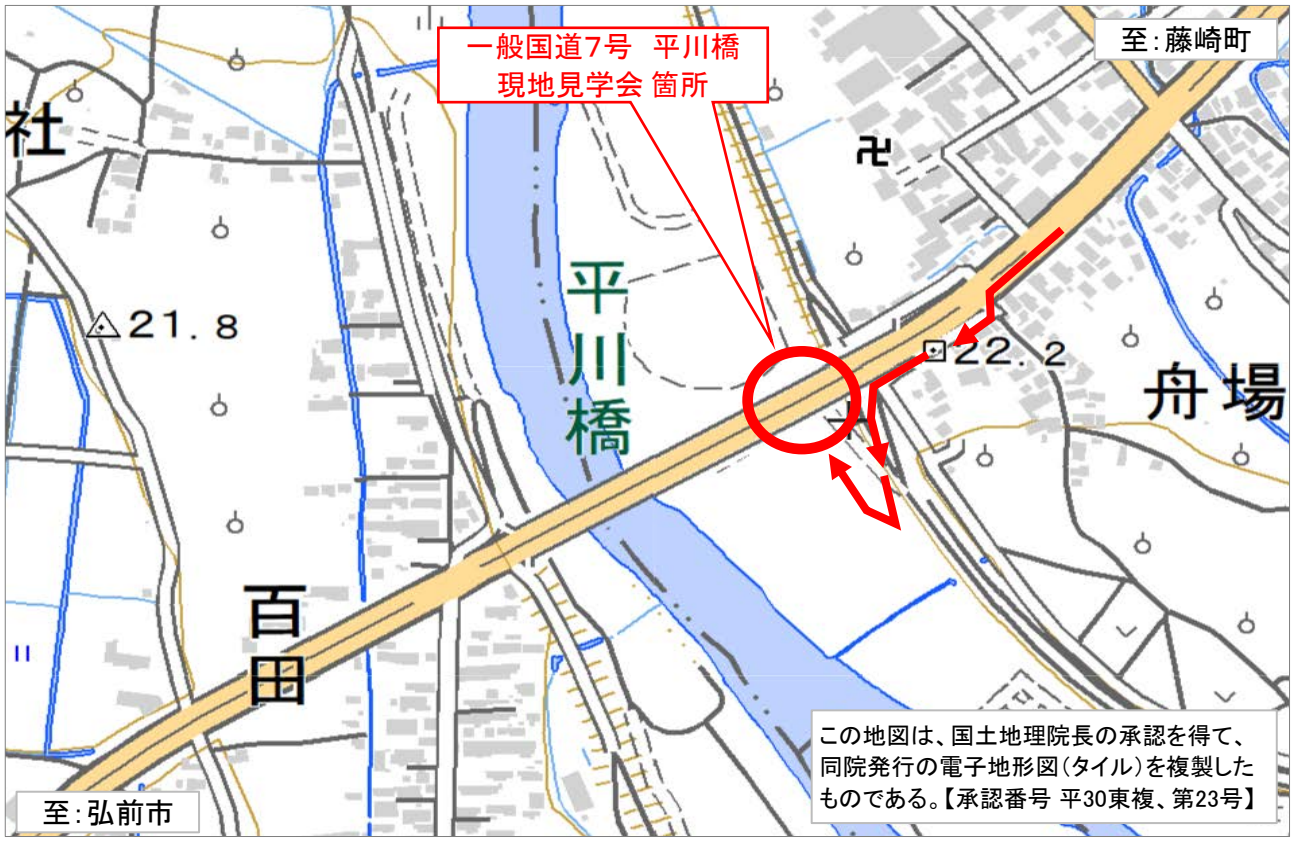
＜問い合わせ先＞

青森県道路メンテナンス会議事務局
国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所

建設専門官　　佐山（さやま）　和彦（かずひこ）　TEL 017-734-4575(直通)

H30年11月16日　青森県道路メンテナンス会議　現地見学会
【位置図】 一般国道7号　平川橋





※国道７号は４車線となっており、中央分離帯で上り下り線に分離されています。
上り線（弘前方向の車線）から平川橋の藤崎町側の手前を、左に入る河川敷道路へ進み、橋の下近くまで進入してください。（赤矢印）

【参考】平成29年度の開催状況

国土交通省

■日　　時：　平成29年10月25日（水）　13時50分～

■場　　所：　青森県藤崎町大字藤崎～弘前市大字百田　（一般国道7号　平川橋）

■見 学 者：　青森県立　弘前工業高等学校　1年生　35名

■主　　催：　青森県道路メンテナンス会議　　（事務局：青森河川国道事務所）

■対象橋梁：　一般国道7号　平川橋　「橋梁点検」
竣工年：下流側1973年（S48）45年経過、上流側1983年（S58）35年経過、
橋長：246.0m、幅員：下流10.75m、上流11.5m、
橋梁形式：3径間連続非合成鋼鈑桁＋2径間連続非合成鋼鈑桁

■見学内容：　リフト車から点検ハンマーによる床版下面の近接目視点検、
A2桁端部の近接目視点検（主桁、支承、橋台、伸縮装置など）



高校生招き現場見学会

県道路メンテ会議　平川橋で橋梁点検体験

担当者の話を真剣に聞く生徒

【藤崎】国や県、県内40市町村などの道路管理者で構成する青森県道路メンテナンス会議は25日、南津軽郡藤崎町の平川橋で地元の高校生を対象とした現場見学会を開催した。社会的課題となっている道路インフラの老朽化対策について学んでもらおうと実施したもので、同様の取り組みは昨年度に続き2回目。

この日参加したのは県立弘前工業高等学校土木科1年生の35人。見学会の現場となった平川橋は、橋長246㍍（幅員10・75㍍）の3径間連続非合成鈑桁橋、2径間連続非合成鈑桁橋で、下流側は1973年、上流側が1983年の竣工。青森管内の点検業務はオリエンタルコンサルタンツ・キタコン設計共同体が請け負っている。

見学会では、生徒たちが実際の点検業務を体験。高所作業車に乗り込み床版のひび割れを目視点検したほか、橋台の点検ではコンクリート部分をハンマーで叩いて音で健全性を判断する手法を体験した。

青森河川国道事務所の沼田龍治建設専門官は、将来的に建設業で働く可能性のある高校生について、「これからの時代は老朽化対策として実施する点検業務がメーンとなる。今回のような実際の作業体験を将来に役立ててもらえればと期待を込めて話していた。（町田大祐）

▲H29. 10. 27　建設青森２面



▲生徒へ橋梁点検の説明



▲リフト車から近接目視、叩き点検



▲橋梁の桁端部の損傷状況などの説明状況